

え ん ゆ う

遠友だより

はっこう
発行
さっぽろえんゆうじゅく
札幌遠友塾
じしゅやかんちゅうがく
自主夜間中学



遠友塾

130名余り参加、オンラインで大阪、京都、東京からも参加

～ 2025年度北海道夜間中学交流会・札幌遠友塾35年の集い ～



9月13日（土）、札幌市教育文化会館にて「北海道夜間中学交流会・札幌遠友塾35年の集い」が130名余りの多くの方々の参加のもと実施されました。オンラインによる参加もあり大阪、京都、東京、小樽、函館、釧路などからも参加いただきました。

元札幌遠友塾自主夜間中学代表の「工藤慶一さん」による講演（遠友塾の歴史と今後の課題Ⅱ）、各地区（星友館中学校、函館遠友塾、釧路くるかい、札幌遠友塾等）で学んでいる方々、スタッフの方々の体験発表がありました。札幌遠友塾では受講生の「坪谷彰子さん」、スタッフの「横山晴美さん」が発表してくれました。坪谷さんの発表をご紹介します。



= 私と孫と遠友塾 =

札幌遠友塾 3学年受講生 坪谷彰子

私は道南の奥尻島の出身です。昭和24年生まれです。子供の頃、私の地区には本屋さんもなく図書館もなかったので、唯一自分の本を持っていたのは小学校に入学した時の数冊の教科書でした。うれしくてすみからすみまで繰り返し読みました。学校でも図書室はなかったが、本箱4本位にびっしり本が入っている教室があったので、お昼休み・放課後毎日通いました。先生があきれて時々ないしょで「家で読みなさいよ」と言って貸してくれました。家に帰ったら手伝いがあるので、中々読めません。こっそり布団の中で電池のあかりで読んだり、押し入れに入っている読んだり、親にいつも目を悪くすると叱られていました。

今では、ほとんど自分の時間なので、図書館から借りて年間250冊位本を読んでいます。食べる、寝る、本を読むのが何よりの楽しみです。図書館に通っているうちに、60才の時、遠友塾のパンフレットを手にし、「これだあー」と思いましたが、持ち前の臆病と優柔不断な性格から、一歩も踏み出せないでいました。

小さい頃から体が弱かったので、学校は休みがちでした。なんとかもう一度きちんと勉強したい。相手に伝わるような文章を書けるようになりたい。人前で思っていることを話せるようになりたい。苦手な英語も少しは・・・と段々思いがふくらんできました。

70才の時に今までお世話になっていた会社が急に閉めることになり、無職になってしまいました。毎日の仕事から解放されて、気が緩んでしまい、腑抜けになってしまいました。

それで、当時小学校5年生だった孫に打ち明けたら、「ばあちゃん、もう1回勉強するって、すごい！絶対行くべきだよ。応援するから」と背中を押してくれました。今まで困難なことがあれば逃げる事ばかり考えてきたので、3年間どころか1年も続けられるだろうか不安でした。

途中で逃げたら恥ずかしいから、孫と2人だけの秘密にしておくよう約束しました。遠友塾のパンフレットに出会ってから10年目です。

どきどきしながら、早速遠友塾に連絡を入れました。3月も末だったので春休みに入っており見学できないため、「入学式に出てみてそれから決めたらいいでしょう」と前遠友塾代表の遠藤知恵子先生に勧められました。遠藤先生の電話の対応で、私の心は決まりました。この時、見えてない相手に接する時の態度って大事だなあと思いました。「いらっしやいよ」と呼びかけられたような気持ちでした。

2019年4月10日、入学式に見学出席しました。不思議なもので教室に入ったらジワーとききました。私は70才の中学生になったのです。毎週水曜日が待ち遠しくなり、一週間の起点が水曜日になりました。熱の出やすい体質なので、休みたくないはずい分気をつけ、ビールの量も減らしました。

入学当時、一年間も続けられるだろうかと不安があったのですが、級友や孫の励まし、先生・スタッフの皆様に導かれて、一昨年立派な卒業証書と皆勤賞をいただきました。遠友塾からの卒業証書も嬉しかったのですが、背中を押してくれた孫からの卒業証書



ご卒業おめでとうございます。ばあちゃんの家に来るたびに、楽しそうに学校の話をしてくれるばあちゃんが私にとって大好きだよ！ 今年も、来年も、またいっばい聞かせてね！
令和5年3月16日 ばあちゃんの孫 杏樹

私の宝物です。毎週水曜日、これをカバンに入れて登校しております。

遠友塾は何よりもテストがないところが最高です。時々、お土産とか、お中元・お歳暮などがありますが、ネーミングが・・・ですね、つまり宿題です。授業は色々な心のこもった手作りの教材を使って、ゆっくり楽しくかみくだいて教えてくれます。「分からなかったら質問してよ」「休み時間でもスタッフに声かけてよ」「少し早く登校して分からない事聞いてよ」と声をかけて下さいます。

昔、こんなふうな授業を受けていたらもう少し頭が良くなっていたんじゃないかと思えます。問題をといたら、赤ペンで、まる、花まる、very goodシールなどをもらうと、不思議、昔の子供時代にもどっているんです。嬉しくてもっと頑張ろうって気になるんです。

私は子供をあまりほめないで育ててきたので、遠友塾に入ってほめられる嬉しさを知り、今36才の娘をほめちぎっています。娘から「母さんも大人になったねえ」と返されています。

とにかく、先生・スタッフ、級友、皆さんあったかいんです。3年間でやめたくない、もう一度という人が沢山いらっしやいます。皆さんの中にも今度こそはしっかり勉強しようと、繰り返し続けていらっしやる方も多いのではないのでしょうか。

今、私は2回目の3年生です。足が痛い、膝がいたい、耳や目が・・・色々困難がありますが、「皆一緒だよ、がんばるべえー」と励まし合いながら、今日も「こんばんは」と笑顔がこぼれます。水曜日休んだらもったいない、損をする、絶対休まないぞって気になります。まさに明日も行きたい学校です。楽しいんだから！ あったかいんだから！

これから教師になる若い人や、不登校の子供たち・親子さん、何かに迷い悩んでいる人たち、もう少し勉強したいと思っている人たち、私達遠友塾に遊びに来て欲しいです。遊びに来て下さい。何かを持って帰れると思います。